

<ニュー・デスティネーション・セミナー>

## コロンビア/Colombia

『カリブ、アンデス、アマゾン良い所どり  
コロンビア ♪』

Presented by

TURISMO LATINO, INC.

(株)ラティーノ

# Colombia



# なぜ今、コロンビアなのか...

## 歴史的要素



- ・金の細工技術によって広まった黄金伝説「エル・ドラド」。
- ・開拓地、植民地、独立運動発祥の地など
- ・植民地時代の面影を残すコロニアルで美しい町並み。

# なぜ今、コロンビアなのか...



## 民族・ 文化的要素

- ・87の先住民族、人種の多様性によって生まれた豊かな文化
- ・ balankees のカーニバル、メデジンの花のカーニバル  
などの催し物が豊富

# なぜ今、コロンビアなのか...

- ・未だ手付かずのアマゾンの自然(南東部)
- ・カリブ・アンデス・アマゾン大まかに  
3つに分かれるバラエティーに富む気候

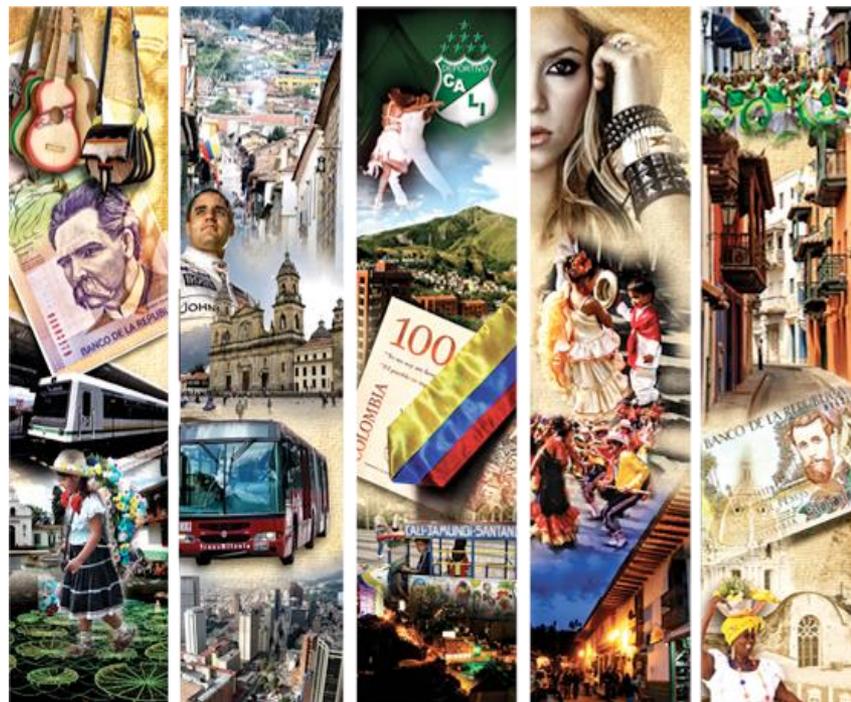


自然的要素

# なぜ今、コロンビアなのか...

- ・見本のマーケットではまだまだ知られていない  
未知のデスティネーション
- ・外務省危険情報による危険レベル引き下げ。

現在のコロンビア



# なぜ今、コロンビアなのか...

歴史的要素

民族・  
文化的要素

現在のコロンビア

自然的要素

# ★コロンビア基本情報★

- ミニ小史:

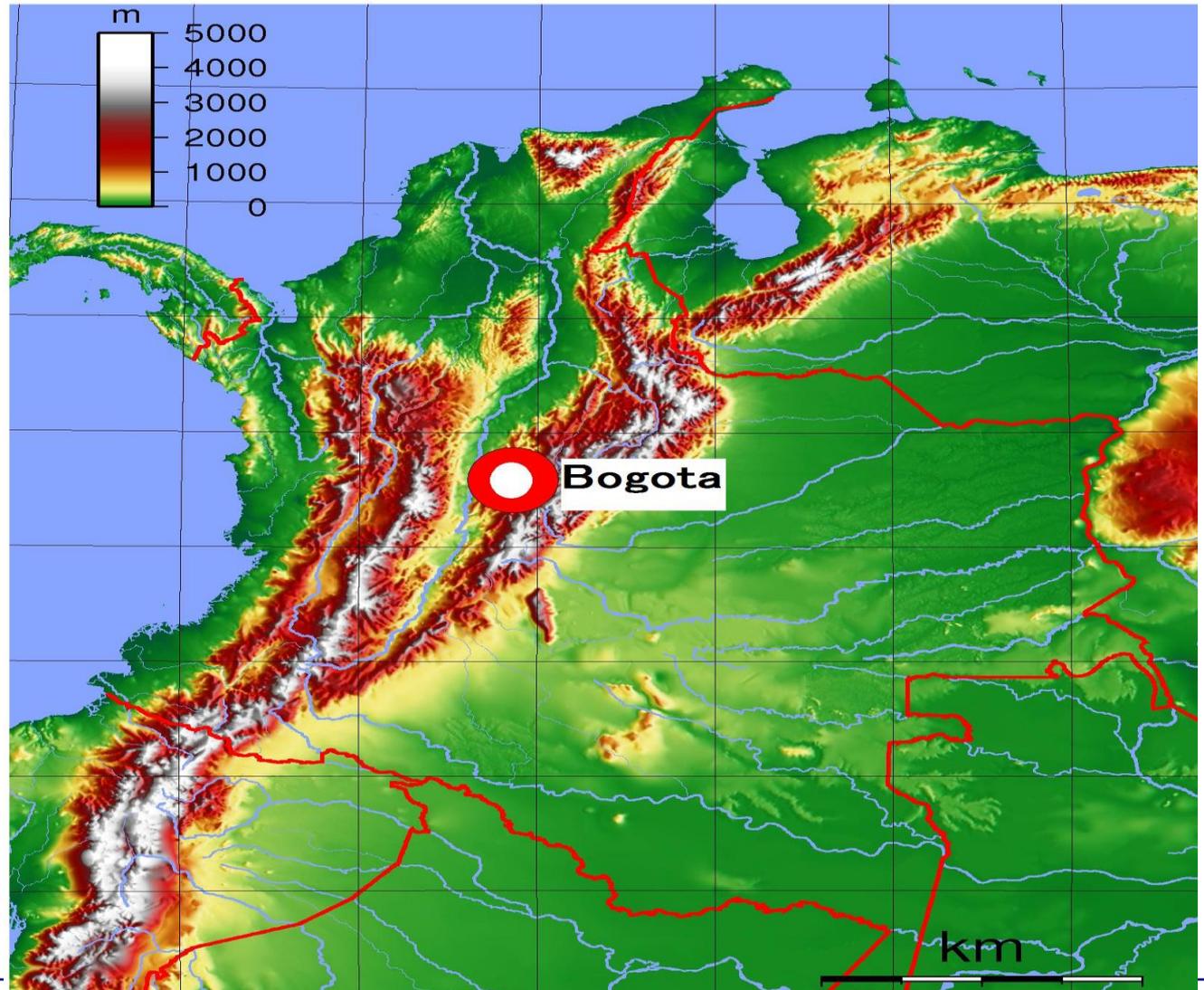
国内には紀元前から各地に部族が暮らしていた。代表的なものには紀元前から紀元800年のサンアグスティン、紀元700年から紀元1600年までのタイロナ文化などがある。スペイン人のエル・ドラード伝説で有名になったのは、ボゴタ周辺に住んでいたチブチャ族で、神々への供え物として湖に金製品を沈めていた。コロンビアに初めて足を踏み入れたのは1499年、1525年にはサンタマルタにスペイン人の初の移住地が建設。ここから、エル・ドラード伝説の噂を元に1538年にチブチャ族が支配していたボゴタにたどり着く。1717年にはスペインは植民地の拡大とともに、コロンビア、パナマ、エクアドル、ベネズエラを含むグラン・グラナダ副王領を設置、現在のコロンビアの首都ボゴタは副王領の首都的役割を果たすようになる。18世紀後半になると、本国への不満が高まり独立の気運が高まる。1810年にボゴタで独立宣言が発せられる。1819年にシモン・ボリーバル軍とサントンドール率いるヌエバ・グラナダ軍がスペイン軍をボヤカの戦いで破り、植民地支配から脱却する。しかし、1831年以降それぞれの国が独立し今のコロンビアになる。

# ★コロンビア基本情報★

- **言語**: 公用語はスペイン語。その他特定地方での民族言語
- **時差**: 日本との差は-14時間(サマータイムの実施はありません)
- **通貨**: 単位はコロンビア・ペソ Colombia Peso。  
ペソの下はセンターボCENTAVO。
- **査証**: 不要(観光なら最高90日まで可) 入国時残存期限3ヶ月以上
- **予防接種**: 黄熱: 黄熱病汚染地区に滞在又は通過後6日以内に入国する場合、予防接種証明書が必要。 マラリア: 予防接種をしておいた方が望ましい。(マラリアについては予防薬を服用。 マラリアは訪問地区、時期により必要度合いが異なる。
- **人口**: 約4500万人 (うち都市部は約780万人)
- **宗教**: 95%がカトリック
- **飲料水**: ミネラル・ウォーター利用 水道水は不可
- **電圧**: 110~120ボルト、60ヘルツ 平2穴Aタイプ
- **チップ**: 欧米と同様にチップの習慣あり  
目安としては、ポーター(荷物1個につき)約1ドル程度

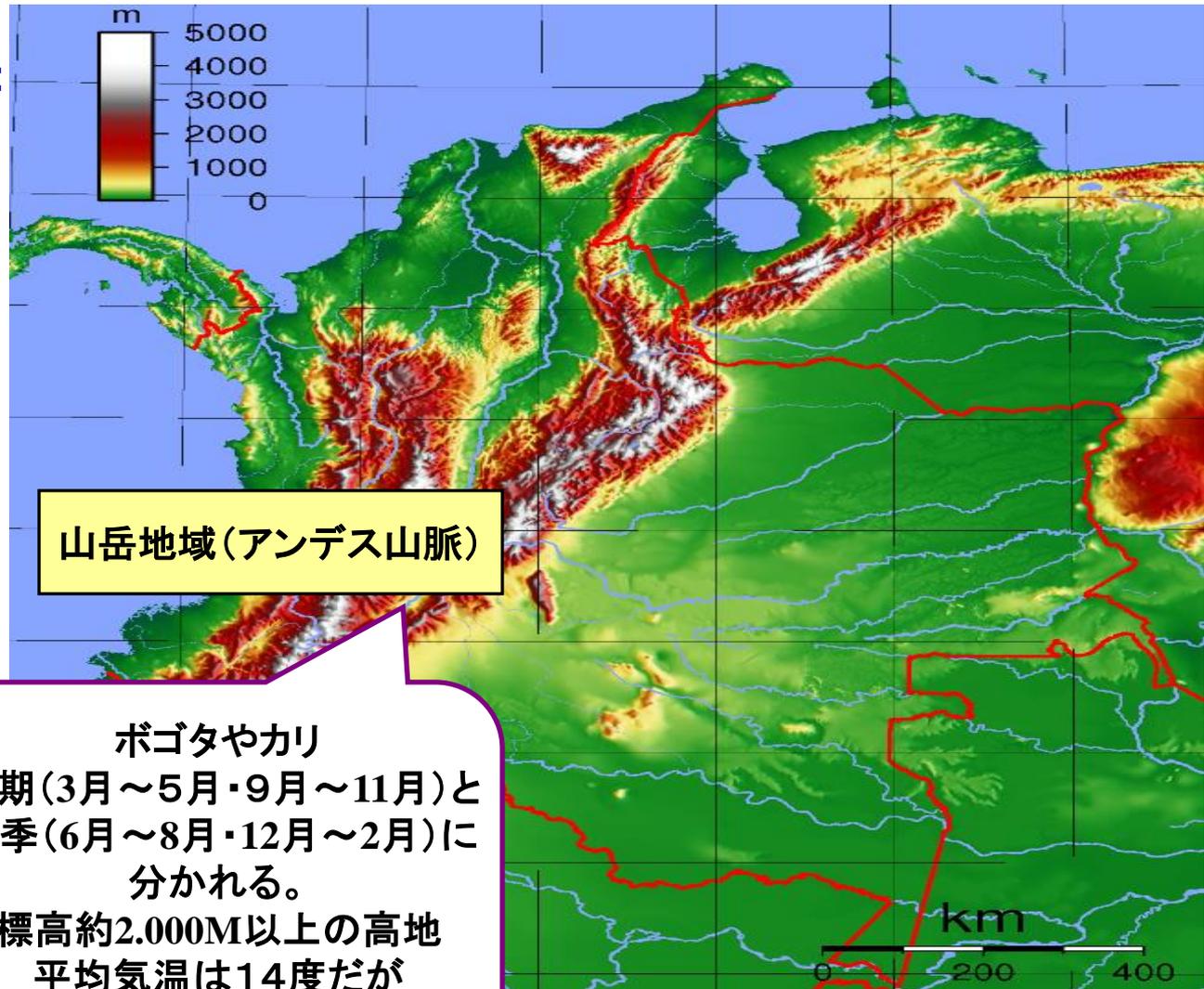
# ★コロンビア基本情報★

- 地理  
気候:



# ★コロンビア基本情報★

- 地理  
気候:



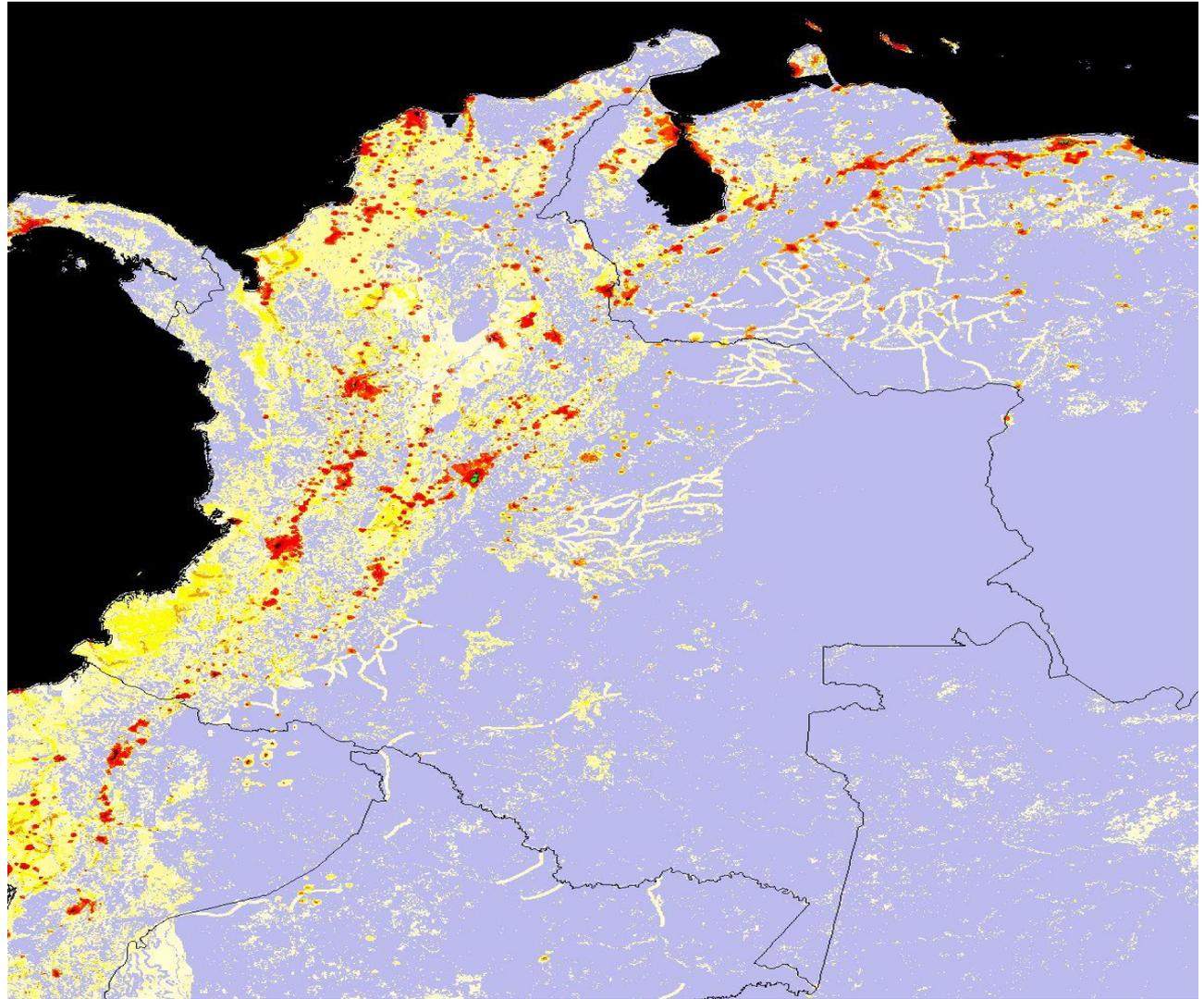
山岳地域(アンデス山脈)

ボゴタやカリ  
雨期(3月~5月・9月~11月)と  
乾季(6月~8月・12月~2月)に  
分かれる。

標高約2.000M以上の高地  
平均気温は14度だが  
朝晩の気温の差が激しい

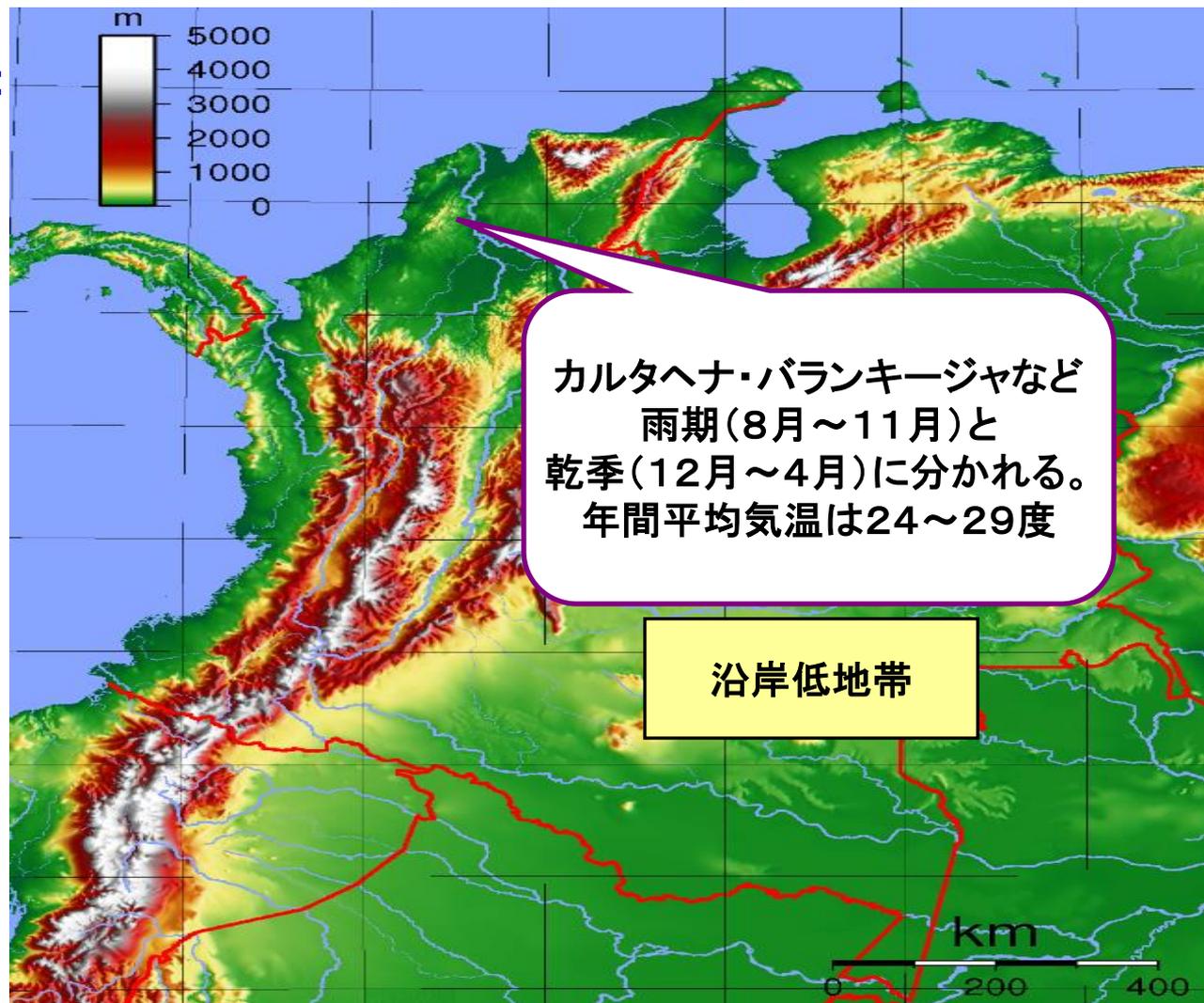
# ★コロンビア基本情報★

- 地理  
気候:



# ★コロンビア基本情報★

- 地理  
気候:



# ★コロンビア基本情報★

- **服装:**

年間を通じアンデスは朝晩冷え込むため厚手の上着は必要。但し、日中は温度が上昇するので、途中で脱ぎ着できる服装が良い。(山登りのようなスタイル！)

カルタヘナではサンダル・ハーフパンツなど1日中夏服の格好で問題ない。全体としてカジュアルな服装、ホテルの夕食などでもドレスコードなどはないが襟のあるシャツがベター。



# ★コロンビア基本情報★



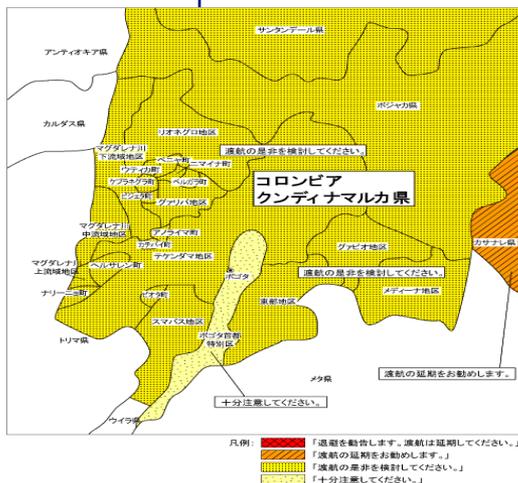
彩豊かな





# ★コロンビア基本情報★

## ● 治安：



- コロンビアに対する渡航情報(危険情報)の発出

●メタ県、カケタ県、アラウカ県、プトゥマジョ県、グアビアレ県、ナリーニョ県、カウカ県、カサナレ県、ビチャダ県、ノルテ・デ・サンタンデル県(ククタ市を除く)、ウイラ県(ネイバ市を除く)、アンティオキア県(メデジン市を除く)、バジェ・デル・カウカ県(カリ市及びパルミラ市を除く)、リサルダ県(ペレイラ市を除く)、チョコ県及びグアヒラ県

：「渡航の延期をお勧めします。」(継続)

●セサル県、サタンデル県(ブラマンカ市を除く)、マグダレナ県、アトランティコ県(バランキージャ市を除く)、スクレ県、コルドバ県、ポジャカ県(トゥンハ市を除く)、カルダス県(マニサレス市を除く)、キンディオ県(アルメニア市を除く)、トリマ県、グアイニア県、パウベス県、アマゾナス県(レティシア市を除く)、クンディナマルカ県(ボゴタ首都区を除く)、ポリバル県(カルタヘナ市を除く)、ペレイラ市、ククタ市、ネイバ市、カリ市、パルミラ市

：「渡航の是非を検討してください。」(一部引き下げ)

●ボゴタ首都区、バランキージャ市、カルタヘナ市、ブカラマンガ市、トゥンハ市、メデジン市、アルメニア市、マニサレス市、サンアンドレス諸島及びレティシア市

：「十分注意してください。」(都市一部引き下げ)

# ★コロンビア日程作成★



# ★コロンビア日程作成★

- 日本からのフライト:

日本からコロンビアへの直行便はない。

アメリカの都市で乗り換えてコロンビアに入るのが一般的ルート。

\* 例 \* **コンチネンタル航空** / 成田 ⇒ ヒューストン ⇒ ボゴタ

米国内同日乗り継ぎにて毎日就航。

フライト時間はおよそ**20時間～22時間程度**となる。

また、近隣国の入国では:

**ブラジル** : サンパウロ ⇒ ボゴタ

**ペルー** : リマ ⇒ カルタヘナ (今年4月より)

**アルゼンチン** : ブエノス・アイレス ⇒ ボゴタ

- コロンビア国内: **アビアンカ航空 (AV)**



# コロンビア主要観光都市

BOGOTA

CARTAGENA

## 日程作成ポイント！

コロンビアの玄関口であるボゴタは標高2600mとなっており軽い高山病を起こす可能性があるため、翌日は午前中Freeにするなど負担を軽くする。

LETICIA

# コロンビア主要観光都市

## BOGOTA



### ボゴタ :

1991年に名称がサンタ・フェ・デ・ボゴタ (Santa Fe de Bogota) に変わったが、2000年に再び現在の名称になった。

スペイン植民地時代の面影を色濃く残すコロニアル建築や高層ビルが立ち並ぶ、コントラストのある都市。ボゴタの名は原住民ムイスカ族系のバカダ族に由来する。1830年にコロンビアが独立した際にボゴタに改称し、現在に至るまで同国の首都であり続けている。

人口は約700万人以上で南米5大都市の一つ。

# コロンビア主要観光都市

**BOGOTA**  
2600m

## 観光ポイント！

植民地時代のコロニアルな建築物が立ち並ぶセントロ地区(旧市街)、構想ビルが立ち並ぶ近代的なノルテ(新市街地区)に分かれている。主な博物館などといった見所はセントロ(旧市街)に集まっている。

南米のアテネといわれる言われるくらい博物館や美術館があります。

<市街>

# ボゴタ

- 黄金博物館
- 国立博物館
- シモン・ボリーバルの別荘
- モンセラテの丘
- ボテロ寄贈館と貨幣博物館
- セントロ(旧市街)

# Museo del Oro/黄金博物館

- スペイン開拓前のコロンビア先住民達の金細工約30,000点以上を展示。
- 駆け足で2時間、普通に見学したら終日掛かる。
- ボゴタを代表する博物館。



# Museo Nacional/国立博物館

- 1948年から博物館として生まれ変わった中南米の中でも古い博物館の一つ。
- 約16,000点に及ぶスペイン開拓前以前のコロンビアの歴史と固有財産が納められている。
- コロンビアの歴史を知るならここ！



# Quinta de Bolivar/ホリバル邸

- 南米をスペインから解放・統一させたヒーロー  
又はEL Libertador「解放者」と呼ばれている。
- 独立の功績に 対し贈られた邸宅。
- ホリバル自筆の資料・勲章などを展示。



# Cerro Monserrate/モンセラテの丘

- 1657年に建てられた白亜のカトリック寺院。
- ボゴタ市を一望できる展望台が人気
- 頂上へはロープウェイまたはケーブルカーを利用して登る。



# ボテロ寄贈館と貨幣博物館

- メデジン出身の国を代表する画家のコレクションを展示。
- ピカソ・ダリ・シャガールなどの多数の作品も収蔵されている。
- 国内で流通された紙幣や硬貨なども展示。



# Candelaria/セントロ(旧市街)



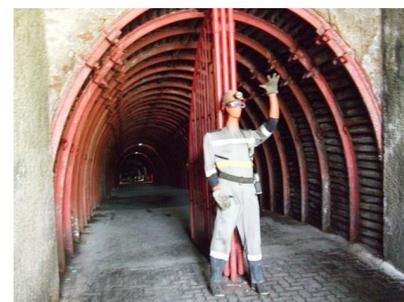
- 首都ボゴタにおける中心的広場。
- 周りにはカテドラル、国会議事堂、最高裁判所、市庁舎など国を代表する建物が立ち並ぶ。



# ボゴタ郊外

## Zipaquira/シパキラ岩塩教会

- ボゴタから北へ40km(約1h30m)のシパキラの町にある教会。
- 岩塩洞窟の中にあり、幻想的な教会。
- 国の文化遺産人気No.1にもなっている。



# ボゴタ郊外

## Villa de Leyva / ヴィジャ・デ・レイバ

- ボゴタから北へ150km(約4h)にある昔のコロニアル風な町並みが保存された町。
- 村の中心には南米一広いといわれる広場がある。



# コロンビア主要観光都市

BOGOTA

AIR

約1時間半

CARTAGENA



# コロンビア主要観光都市

CARTAGENA

まぶしい陽光、カリブからの潮の香り、サルサの心地よいリズムが聞こえる国内最大のカリビアンリゾート。歴史と自然の二つの顔を持つ町。

旧市街のコロニアルな町並みは何回歩いても飽きることはなく、アメリカ・ヨーロッパをはじめ世界から多くの人々が訪れる国内で最も観光客が多い観光都市。その昔、カリブ海で全盛を極めた海賊のミステリー伝説も数多く残している。歴史を感じた後は綺麗な島々を訪ねることが主流。

# コロンビア主要観光都市

CARTAGENA

1985年「カルタヘナの港、要塞群と建造物群」が世界文化遺産に登録

カルタヘナ市(正式名称:カルタヘナ・デ・インディアス)はスペイン人達により1533年に造らる。16世紀以降スペイン人がインカ帝国滅ぼして以来、スペイン帝国の最も重要な貿易港として発達する南米の中で最も古い町の一つ。

南米各地で強奪したペルーの金や銀、エメラルドをはじめとするアメリカ大陸の富を狙った、カリブの海賊たちや他国の標的になりやすいため、石灰岩(サンゴ)で4kmの城壁を造った。カルタヘナは海賊の攻撃に良く耐え、難攻不落の港の建設に着手した。その後、スペイン人達の支配に我慢しきれなくなったカルタヘナの住民は本国からの独立を宣言する。

# カルタヘナ

- ◆旧市街(歴史地区)ウォーキングツアー  
〈所要:約3時間〉
  - サン・ペドロ教会
  - サント・ドミンゴ教会
  - 宗教裁判所
  - 城壁の上を散策など。。。
- ◆サンフェリペ要塞・ポパの丘
- ◆ロサリオ諸島

# Historic Center/歴史地区

- 長い歴史をもつ歴史地区には城壁内には20以上の教会&寺院、15以上の広場・博物館がある。



# Castillo San Felipe/サンフェリペ要塞



# Cerro de Popa/ポパの丘



# Islas Del Rosario/ロサリオ諸島



～ カルタヘナから南西へ約40km

43の島々からなる国を代表する国立公園 ～



# コロンビア主要観光都市

BOGOTA

AIR

約1時間40

LETICIA



# コロンビア主要観光都市

LETICIA

大自然に囲まれて、地球からのエネルギーがもらえる場所。

コロンビアの最南端、アマゾンのジャングルの中にある町。陸路では他の都市へは移動できない。隔離されていることもあり、珍しい動植物が多数生息している。コロンビア・ペルー・ブラジルが接している街でもあり、アマゾン川から三国国境が見渡すことができる。ツアーの中では先住民とふれあい、その文化を知ることができる。鳥の歌声、風邪の音、手を伸ばせばすぐ届くところにある野生の生物達。

# コロンビア主要観光都市

## LETICIA

国立アマカジャク自然公園には468種の鳥、150種の哺乳類が生息する。

レティシア (Leticia) は Amazonas (アマソナス) 県の首府であり、コロンビアエコ・ツーリズム発祥の都市。「Leticia」の起源にはあるコロンビアの兵士が Leticia という名前の女性に恋し、彼女の名にちなんで名付けたといわれる。アマソナス県の人口の多くは先住民で Huitotos, Yaguas, Tucanos, Ticunas, Camsas, Ingas などが住んでいます。このうち、Leticia 周辺には Ticuana を中心に 3 民族が居住しています。

# Leticia's Nature/レティシアの自然

～ コロンビアエコツーリズムの聖地  
ブラジル・ペルーを結ぶ平和の町～



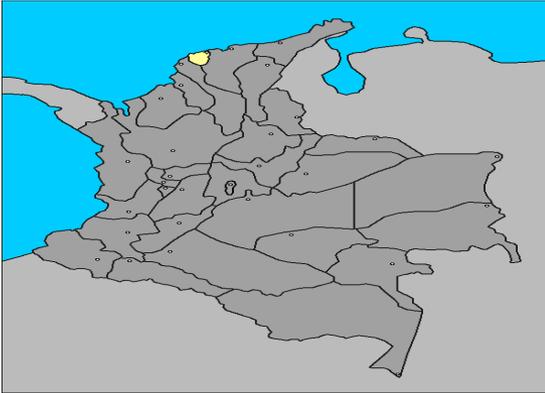
# その他の観光地

## Medellin/メデジン



# その他の観光地

## Barranquilla/バランキージャ



# その他の観光地

## Armenia/アルメニア コーヒー公園

